

県立美術館・県立博物館では、新型コロナウイルス感染拡大の状況や荒天により利用時間等の変更をすることがあります。お出掛けの際は、各館のホームページなどをご確認ください。

### ▼県立美術館「第2期コレクション展」

県立美術館では、約 2,800 点の収蔵作品の中から、テーマに沿って選んだ名品の数々を展示する「コレクション展」を定期的を開催しています。

#### 「名品2 -浅井忠と工芸-」

佐倉藩出身で近代洋画の先駆者である浅井忠は、晩年、工芸制作にも精力的に取り組みました。洋画家ならではの工芸作品の魅力を紹介します。



浅井忠《図案皿》

#### 「澤部清五郎とその周辺」

澤部清五郎は、浅井忠に師事し関西洋画壇で重要な役割を果たした他、日本画やインテリアデザインなど他分野にわたって活躍しました。澤部の作品と関連する作家の作品を展示し、多彩な画業の背景を紐解きます。



古川弘《夏園少年》

#### 「春過ぎて夏来たるらし -夏の風物詩-」

夏の訪れを感じさせる絵画・版画・工芸・書の作品を取り上げ、夏の季節感や風俗などのさまざまな表現を紹介します。

会 期：5月28日（土）～7月18日（月・祝）

開 館：午前9時～午後4時30分

入館料：一般300円、高校・大学生150円

※中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1人無料

※県民の日（6月15日）は無料

休館日：月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館）

会場・問い合わせ：千葉県立美術館（千葉市中央区中央港 1-10-1）

電話 043-242-8311

## ▼ 県立中央博物館 トピックス展

NO.10

### いおざわともや 「五百沢智也氏が描いた房総の風景」



野見金山の眺望

ちょうかんす  
鳥瞰図作家・氷河地形研究者の故・五百沢智也氏が、房総の風景を独自の視点で描いた作品を紹介するトピックス展を開催します。

氏の作品は、山岳雑誌などにも多数掲載され、臨場感のある絵画として、また、山岳地形の客観的な観察記録としても高く評価されています。

房総の身近な自然を描いた作品について、その土地の成り立ちも含めて解説します。

会 期：～6月19日（日）

開 館：午前10時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入場料：一般300円、高校・大学生150円

※中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1人無料

※県民の日（6月15日）は無料

休館日：月曜日（月曜日が休日の場合は開館し、翌日休館）

会場・問い合わせ：千葉県立中央博物館（千葉市中央区青葉町 955-2）

電話 043-265-3111

## ▼ 県立中央博物館 大利根分館が臨時開館します

県立中央博物館 大利根分館（香取市）は、本館への機能集約に向けた準備のため、令和4年4月から休館していますが、隣接する水郷佐原あやめパークのアヤメの見頃に合わせて臨時開館します。



期 間：5月28日（土）～6月19日（日）

期間中無休

開 館：午前9時～午後4時30分（入館は午後4時まで）

入場料：一般200円、高校・大学生100円

※中学生以下、65歳以上の方、障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1人無料

※県民の日（6月15日）は無料

会場・問い合わせ：千葉県立中央博物館大利根分館（香取市佐原ハ 4500）

電話 0478-56-0101